



## ある集い ■ 上月倫子バレエスクール

### ダンス・クラシックの伝統を

スタジオはいつも明るく笑顔がたえません。長く在籍している人が多いのでお互い好きなことを言いながら、新入の人もすぐに仲間にてしまいます。そんな雰囲気の中で今年は設立32周年、発表会は20回目となります。一つの節目と言えるこの会に、今日までの集大成となるような作品をと思い、古典の名作「眠れる森の美女」と「白鳥の湖」を上演することにいたしました。「白鳥の湖」に関しては、谷桃子バレエ団での数多くの舞台経験から学ばせて頂いたものをより多く後進に伝えたいという思いがありました。また、「眠れる森の美女」は児童中心の作品で、こちらは今後を担う助教師達が若いパワーを結集して制作いたしました。ひととき、ファンタスティックなバレエの世界に浸つて頂ければと、ステキなゲストの方々と共に本番に向けて頑張っております。

今後も日々のレッスンを通して生徒達にダンス・クラシックの伝統を出来る限り正確に伝え、その優雅さ、華麗さの中内容を表現し、観客を魅了出来るようなバレリーナが育つてほしいと願い、また、普段の努力の成果が舞台で花開いた時の充実感、踊ることの楽しさ、踊れることの悦びを知つてもらえることを願っております。  
*(上月倫子)*

- 上月倫子バレエスクール 第20回記念発表会  
日時：7月21日 曜の部 午前11時開演  
夜の部 午後5時開演

場所：神戸文化ホール

TEL&FAX 078-222-2437  
連絡先 神戸市中央区布引町2・2・12



撮影／ベン・シモンズ

これは神!を愛する人々の雑誌です  
あなたのくらしに芳しい夢をおくる  
神!を訪れるにはやさしい道しるべ  
これは神!っ子の心の手帖です

## 7月号目次 ●1997-434

- 表紙／「休息」小堀良平（小堀記念美術館蔵）  
セカンドカバー／「第1回みなとの祭り」中山岩太  
目次＆ウラ話「メールアートひも少女」鶴本昭三
- 12 神戸っ子'97／岩田透述「辻有紀」  
14 7月のお嬢さん／フラワープリンセスひょうご バールプリンセス  
16 ある集い／上月倫子バレエスクール  
25 ポエム・ド・コウベ／「変わら帽子」松本恵子 桜一石阪春生  
27 私の意見／「神戸まつりと三都堂祭り」石森義三  
28 連載エッセイ／醉心漫旅日記「ベトナム青春旅行(6)」  
　　村松友輔 絵=源木雅人  
30 夏・神戸觀光エッセイ  
　　「神戸・東灘ロマン街道」佐々木浦  
　　「酒倉の街・神戸まん物語」福元早夫  
34 神戸に想う／「そこに確かにあった」白羽弥仁  
38 神戸まつり特集／座談会「神戸を見て死ね」  
　　杉山力子 横本日出夫 全美玉 船木晴夫  
　　西川勝実 小山乃里子 新谷塙紀  
　　まつりガイド

- 48 大長江筋ガイド  
52 山下みか子のTASTYゴルフ!!／「北六甲カントリー俱楽部」  
53 神戸型破り人物伝  
　　「パソコンで変わったチャレンジの世界」竹中ナミ  
54 はるにゃんのHYOGO WALK  
　　「青少年の健全な育成をめざして」  
56 OH!タカラヅカ／「エルマーードを語る」  
　　谷正純・真琴つはさ 花舞  
71 鹿井一成のズーム in ZOO／「ホッキョクグマの適齢期」  
74 ふたたびプロフェッサーPの研究室／岡田淳  
76 トアロードまちづくり／「まちづくり会社発起人会」  
78 神戸を福善の街に／「NGO外国人救援ネット」横田明  
80 有馬歳時記／「楽しくなった有馬ぶらり歩き」  
82 イベントガイド＆チケットプレゼント／「もだんかると」  
84 シネマ試写室／「ネオン・バイブル」淀川長治  
86 神戸百店会だより  
88 びっといん  
90 ポケットジャーナル  
93 KFSニュース／「ショッピングマナー」  
94 ルボルタージュ神戸「神戸国際宝飾展」福元早夫  
98 連載小説／「屋上のシーラカンス」(3) 木村光理 絵=森澤達夫  
114 海・船・港／「日本丸とフリクニア号が入港」  
116 北野ホットニュース／「FM MOOV、開局」  
118 美の幕／「選磨の祝杯」  
　　カメラ／米田定蔵・池田年夫・松原卓也・森田篤志・森田純三・米田英男

## メールアートひも少女

山本玲華さんは「ひも」をテーマとして世界と交流する「メールアーティスト」である。

メールアートというのは、アートを郵便で送り合って世界中のアーティストと交流し、ネットワーキングすることである。欧米先進国では洪水のように広がって盛んであるが、日本では極端に参加人数が少ない。

彼女は、毎日のように「ひも」をテーマとしたメールアートを世界に送っている。「ひも」に関するものを送って下さい」というインフォメーションもそのひとつ。そこで、いろいろな「ひも」が送られてくる。ロープや綱、紐、糸を始めとして、例えばロサンゼルスからは、カセットテープのテープの部分を出して、それを「ひも」として。ロンドンからは、なんと道端で男性が立ち小便をしている写真の、その条状の様子を「ひも」と称して送ってくるアーティストもいるという。

このようにして、世界から送られてきた「ひも」を素材として作った

作品の写真や印刷物を、メールアートで再度世界に送り、交流を続けている。さらには、アート作品として個展も企画する。それが関西テレビの番組「紳助の人間マンダラ」の撮影会場となり、タレントのたいぞうと「ひも」でのアートの共演をして島田紳助たちを驚かせた。この模様がテレビで放映されたとき、「天才少女・山本玲華」というテロップで玲華さんの紹介がされたのである。

また、彼女は「ひも」を身体に巻き付けてアートパフォーマンスをする。その記録を印刷物にして世界に送る。まさに「ひも」「ひも」「ひも」で、すべてが「ひも」である。彼女は美人であるから反響も大きい。世界のアーティストからたくさんメールが届く。

一昨年、彼女はヨーロッパを訪れた。ギリシャはアテネ、スペインのマドリッド、フランスのパリ、イタリアではローマなどを訪れたのであるが、メールアートを通してすでに有名になっている彼女の訪問に際

し、どの地でもアーティストたちが迎えにきてくれ、一緒に展覧会を企画したり、アートパフォーマンスを発表したりした。フランスを訪れた際にはパリの街中に、「REIKA YAMAMOTOの歓迎と発表」のポスターが貼られており、歓迎のパートナーとパフォーマンスがギャラリーを貸切っておこなわれたという。

昨年、ぼくは彼女を伴ってフィンランドを訪れた。そのときに、地元の富豪であり、またアーティストでもあるトーマスという青年が、彼女にすっかり心酔してしまい（作品に？或いは容姿に？）フィンランドとハンガリーで玲華さんのワンマンショーを計画してくれ、今年の夏、彼女は現地を訪れて「ひも」「ひも」「ひも」のアートを発表する。

メールアートというのは、まだ日本ではあまり理解されていないが、国際的な視野に立って自己の芸術をアピールする新しい方法であり、彼女はその代表的な美女アーティストである。



# 緑と海そして愛 神戸まつり

27 きららKOBE★元気アップ！

7月17日(木)～21日(月)

今年からパレードはフラワーロード～元町商店街に戻りました。スタートは20日の午後3時。日没後は竿灯などの日本の夜祭や光で演出したフロートが登場します。また、アジア文化と交流・共生をテーマに、ハーバーランドではアジア芸能のステージと物産・食品の展示、販売を行う「アジアパラダイス」などを予定。



サンバの本場ブラジルから40人のダンサーがやって来る



「神戸まつり」は市民の手作りによる



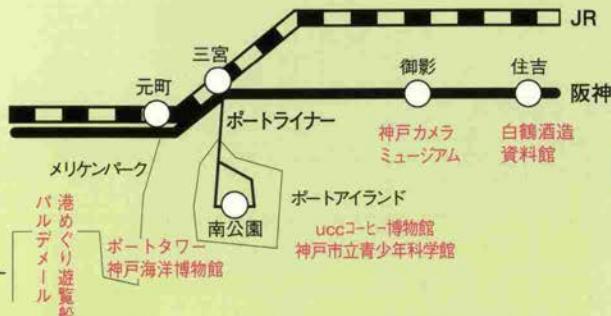
エキゾチックなマンクヌゴロ王家舞蹈団



神戸の元気を全国にアピール！

神戸サンバチャーミーダー 西内 健

パレードが震災前のようにフラワーロードに返ってきました。サンバの明るく陽気なリズムは、いまの神戸を表しているようです。見て楽しい、参加して楽しるのが「神戸まつり」。皆さんも飛び入りでパレードに参加し、いっしょに神戸の元気を全国へアピールしませんか。



# KOBE観光'97 夏・おすすめスポット特集

あなたは海派？山派？  
それともカルチャージーン散策？





## コーヒーのある豊かな生活



**UCC コーヒー博物館**

〒650神戸市中央区港島中町6-6-2 TEL.078(302)8880  
♥プレゼントチケットペア10組ご招待

■開館時間  
午前10時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

■休館日  
毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始

■入館料  
大人 210円(消費税含む)  
小中生100円(消費税含む)

■交通  
三宮駅よりポートライナー南公園駅下車北側

## 美術館のある「御影・住吉界隈」散策



**神戸カメラミュージアム**  
KOBE CAMERA MUSEUM

阪急御影駅下車すぐ／TEL.078-851-6632  
開館時間／午前10時～午後5時30分・休館日／毎週月曜日、休翌日  
♥プレゼントチケットペア10組ご招待

### 工 リアへのアクセス

◆御影周辺…三宮から御影周辺へ

JR (快速で約6分) 住吉駅まで160円

阪急 (約10分) 御影駅まで180円

阪神 (特急で約6分) 御影駅まで180円

◆メリケンパーク…三宮からメリケンパークへ

JR (約2分) 元町駅まで120円。南へ徒歩10分

阪神 (約1分) 元町駅まで110円。南へ徒歩10分

市バス (約10分) 18番・90番・急1系統でメリケンパーク南へすぐ200円

シティ・ループ (約15分) メリケンパーク南へすぐ250円

◆ポートアイランド…三宮からポートアイランドへ

ポートライナー (約12分) 南公園駅まで240円



酒づくりの心を知る



**白鶴酒造資料館**  
神戸市東灘区住吉南町4丁目5番5号  
TEL.(078)822-8907 白鶴酒造本社内  
入館無料・さき酒コーナーもあり  
開館時間 午前9時30分～午後4時30分  
(但し入館は午後4時まで)  
月曜休館 (月曜が休日の場合は開館)



「世界一の電子ボルトに感嘆」



末次攝子さん(ジャーナリスト)  
建設と造園に夢が託されており、想像を超える見事な形象でした。特に「SPring-8」の世界一の電子ボルト放射光に感嘆。  
大きな未来開拓ですわ。

★ 未来都市での研究・生活を支えます

他の主な施設として、すでに開学している「姫路工業大学理学部」のほか「西播磨コンピュータカレッジ」「先端科学技術支援センター」などが完成し、「粒子線治療センター（仮称）」も平成12年度末を目指して整備が進んでいる。

戸建分譲住宅「播磨・光都21」や賃貸高層住宅「サンライフ光都」への入居が始まっているほか、輸入住宅街なども完成しつつあり、8月にオープンする生活利便施設「光都プラザ」とあわせて、未来都市の研究・生活関連施設はますます充実する。

「とにかくまた見に行きたい」



小山乃里子さん（神戸市会議員）  
産官学協働の精神が印象に残った。「SPring-8」の将来性が、医学方面以外いまいち理解できなかつたが、すごいことなのだろう。もう一度見に行きたいた。

★8月1日から「まちびらきフェスティバル」

「SPring-8」をはじめとする主要な施設が完成し、21世紀に向けてよい

より具体的な活動を始める「播磨科学公園都市」。都市としての活気が満ちはじめる今年8月から、その可能性のすべてを見て、知って、体験できる多彩なイベントが予定されている。

リレー方式で開催される約40のイベ



## 攝摩・光のページント

播磨科学公園都市  
まちびらきフェスティバル'97  
8/1(金)~10/31(金)

## ● テーマ

「“光”が生み出す輝く未来」

SPring-8が放つ“光”に希望を託し、西播磨の自然と歴史と伝統の“光”が輝きを増し、光り輝く未来が来ることを願う。

## ■サブテーマ

科学が拓く未来のまち。人にやさしい、いきいきとしたまち。世界に開かれたまち。

## ■開催場所

播磨科学公園都市（メイン会場）  
西播磨地域全域（協賛イベント会場）



都市中央部にあるセンターサークルの「ストーンランタン」ントのほか、科学を通じて子供たちの夢や挑戦する心を育むためのパビリオン「はりま・夢サイエンス館」をはじめ、インターネットを実体験できる「マルチメディア体験コーナー」など、参加体験型のイベントが目白押し。とにかく「見て、知って、体験」してみよう。



## 交通アクセス

- J R  
新幹線・山陽本線相生駅から車で約20分  
新幹線・山陽本線姫路駅から車で約45分
  - 中国自動車道  
山崎 I C から約35分  
佐用 I C から約20分
  - 山陽自動車道  
竜野西 I C から約25分  
播磨ヘリポート  
神戸ヘリポートから約25分
  - 路線バス  
J R 相生駅から約30分  
J R 播磨新宮駅から約20分  
J R 姫路駅から約60分  
J R 上郡駅から約30分

- 兵庫県企業庁播磨企画課〒650神戸市中央区下山手通5-10-1  
TEL.078-341-7711（代）内線5584・5585
  - 播磨科学公園都市建設局〒678-12赤穂郡上郡町金出地1503-1  
TEL.07915-8-1115
  - インターネットアドレス <http://web.pref.hyogo.jp/harima/>



西播磨の丘陵地に広がる「播磨科学公園都市」。右に見えるリングが「SPring-8」

### ★ 緑に囲まれたアーバンデザイン

トンネルを抜けると、そこは科学公園都市だったー。西播磨の自然を借景に、すっきりとデザインされた未来都市が現れた。播磨科学公園都市のデザインコンセプトは“時間とともに成長する森の中の都市”。建築家の磯崎新氏、安藤忠雄氏、都市デザイナーのピーターウォーカー氏らの指導のもと、都市機能と景観の両面からデザインされており、快適な居住環境、優れた研究環境を生み出している。



デザイン性の高い都市空間が広がる  
(写真提供・上郡民報)

〈光のまち・はりま〉播磨科学公園都市を訪ねて

スプリングエイト

## 「SPring-8」に夢の光を見た！

21世紀へ動きはじめた〈光のまち・はりま〉。西播磨の丘陵地に、人と自然と科学が調和する高次元機能都市「播磨科学公園都市」の整備が進んでいる。西播磨テクノポリスの拠点となるこの未来都市も、8月1日いよいよまちびらき。それに先立ち、文化人ら26名が現地を訪れ、大型放射光施設「SPring-8」などを見学した。

### 「人間の営みを想う」



岡田美代さん（演出家）

未来都市のデザインに、太古の集落を思わせるものがありました。人間の営みは大きく繰り返されるのでしょうか。そんなロマンを感じました。

### ★ 夢の光を放射する「SPring-8」

播磨科学公園都市の目玉といえば、「夢の光」を放射する大型放射光施設「SPring-8」（スプリングエイト）。電子を80億電子ボルト(8Gev)まで加速し、発生する放射光を利用する施設。放射光は非常に明るく波長が短いため、原子レベルのミクロな世界の解明が可能になるー。とのことだが、これ

### 「大きなお地蔵さんを建てたい」



丘あつしさん（漫画家）

とにかく広い。役に立たないものも少しいれば、もっと面白いかも。中央広場（センターサークル）には、大きなお地蔵さんでも建てたいな。



パスツアー参加メンバー。後ろに高層住宅「サンライフ光都」（設計・磯崎新）が見える

以上の詳しい説明は門外漢にはチップンカンパン。

「従来施設の明るさを『星空』だとすると、SPring-8は『太陽』に相当します」。つまり、非常に明るい光のもと、非常に細かいものが見えるということ。物質の構造や性質が詳しく分かるため、エレクトロニクスや医療、化学など、さまざまな分野での成果が期待されている。



「SPring-8」内で施設説明を聞く



ブランコーロード～元町商店街の  
パレードが復活！7/20(日)15:00～19:00

### 神戸まつりメインフェスティバル

コース／おまつりパレード

(東遊園地・光の塔～花時計線～大丸前) 約900m

元町パレード

(大丸前～元町通り) 約1100m

第27回神戸まつり

## きららKOBE☆元気アップ！

緑と海そして愛

7/17(木)～21(祝)



ようこそ神戸まつりへ！

Sensible Fashion

SANNOMIYA HONDORI

三宮本通商店街



ようこそ神戸まつりへ！

7/20(日)午後2時30分より

「元町パレード」オープニング

セレモニーを行います。

予定イベント…サンバ、獅子舞、  
マーチングバンド  
龍踊り

場所 大丸山側



[ミュー]

元町東地域協議会



明治25年頃「誓文払いの日」

今も昔  
KOBEらしさは元町で

## 元町商店街

7月29日(火)恒例の元町夜市が開催されます

# 麦わら帽子

松本 恵子 絵／石阪 春生

今年は麦わら帽子

ひとつ増えました

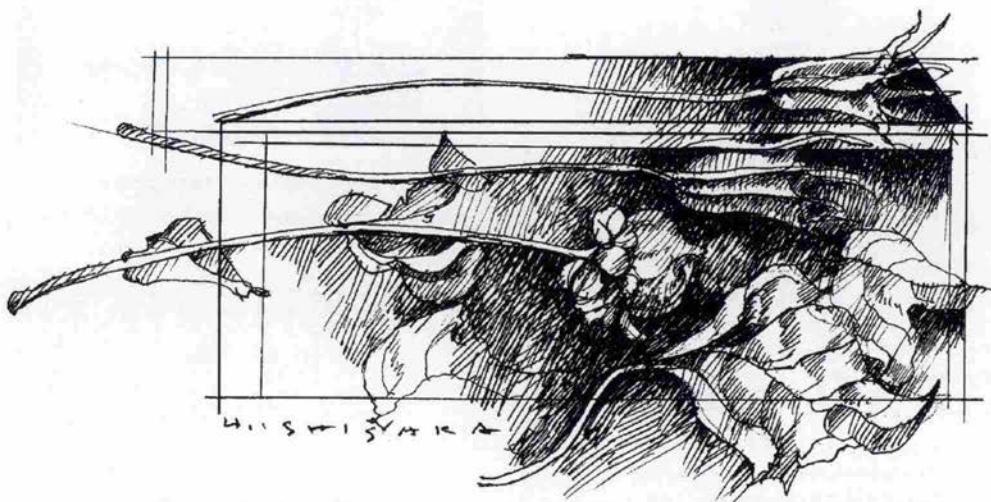
小さなかわいい麦わら帽子

今 持ち主はお昼寝中

早くお散歩に行きたいと

少しつまらなそうに

飾りのリボンがゆれています



# 神戸から夏の贈り物 プレミアムデザート 「ロレンス」



天然素材にこだわった  
フルーツフルなゼリー

6個入 ￥1,500

8個入 ￥2,000

12個入 ￥3,000



株式会社 ヨーハイム・コンフェクト

本社 〒651-21 神戸市西区北別府2-1-2  
TEL078-974-9756 FAX078-974-9758  
プライダルギフト 〒558 大阪市住吉区刈田町7-12-19  
事業部・大阪 TEL06-697-9435 FAX06-697-4188



ママといっしょに



いぶ  
赤ちゃん：北前衣舞ちゃん（平成8年12月22日生まれ）

「人の痛みがわかる、気持ちの優しい子、そして誰からも愛される素直で丈夫な子に育って欲しい」

★佐本産科・婦人科★  
佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15  
TEL:078-575-1024 (病室TEL:078-577-7034)  
市バス上沢4停南スク  
●駐車場完備●

震災で中断された「神戸まつり」は昨年、新たな形で再開された。今年は新生「神戸まつり」の第二回目ということになる。

## □私の意見 「神戸まつり」と 「三都夏まつり」と

石森 秀二

（国立民族学博物館教授）



新生「神戸まつり」は、従来と異なる面がいくつかあつたことだ。それによつて、昨年は「三都夏祭り」というキャッチフレーズが新聞紙上をにぎわした。京都の祇園祭と大阪の天神祭のあいだに、神戸まつりが時期的にはさまるので、関西財界の提唱によって「京阪神三都夏祭り」が全国的にPRされるようになつた。

「三都夏祭り」が提唱された背景には、神戸まつりの目的の変化がある。震災以前の神戸まつりは、市民の連帯の高揚を目的にしていたが、震災を契機にして、集客による神戸経済復興への貢献という目的が付加された。

多目的イベントになった神戸まつりは必然的に、盛りだくさんな行事に彩られる。今年のまつりでは、アジアパラダイス、音楽の祭典（アジア音楽の夕べ）、太鼓 in KOBEなどが予定されており、関連行事としては「大長江節（フェア）」が同時期に開催される。祇園祭と天神祭という歴史的伝統にもとづくイベントに対抗して、神戸まつりは多様性と国際性を全面に出すようだ。

このような神戸まつりのあり方に大きな危惧がある。それは、神戸まつりがいつまでたつても「官主導イベント」から脱却できない「時代遅れのイベント」であり続けている点だ。その原因は、神戸まつり実行委員会が神戸市民祭協会（会長は笛山市長）に設けられ、その事務局が市民局文化振興課に設置されていることがある。

祇園祭と天神祭は、伝統にもとづいて「町衆」が中心になつて運営される行事である。「三都夏祭り」を目指すのであれば、「神戸まつり」もまた、市民が中心になつて運営されるイベントであるべきだ。官主導で目先の成功を追い求めるよりも、二十一世紀の新しい市民民主導型イベントの可能性を追求すべきである。「結衆の原点」としての祭りの機能を軽んじてはならない。

# 酔眼流旅日記 第13回

第13回

## ベトナム青春旅行（六）

村松 友視（作家）

サイゴンで私が宿泊していたホテルは、どうやら米兵の連れ込み宿にもなっているようだつた。

最初の夜、隣の部屋でボーカーをやっていた姉妹の片方は米兵のオソリー的な役どころだった。その相方が泊るというので私の部屋の片方のベッドに寝た片方の女性は、「悪いことしちゃ駄目よ」と私をチエックしたあと、豪快なイビキをかいて眠ってしまった。この旅はいつたいどうなるんだろう……私は、何ともうらさびしい気分におそわれた。

翌朝、目覚めてみると隣のベッドには誰もいなかつた。しばらくすると、隣の部屋のドアが開く気配がして、私の部屋のドアをノックする音がした。聞けてみると、人の好さそうな白人の米兵と、その愛人といった感じの美人の女性、そして私の隣のベッドで大いにイビキをかいていた美人でない女性が立つていた。彼らは、私のおかげですべてうまくいったとういうように、ていねいに礼を言つて去つていった。

「オネスト・ボーリー」

隣のベッドに寝た方の女性が、ドアを閉めるときそう言つて片目をつぶつて見せた。悪いことしちゃ駄目よ……という彼女の言葉を、私が守つたことをほめてくれたのだろう。私は、苦笑しながら手を振

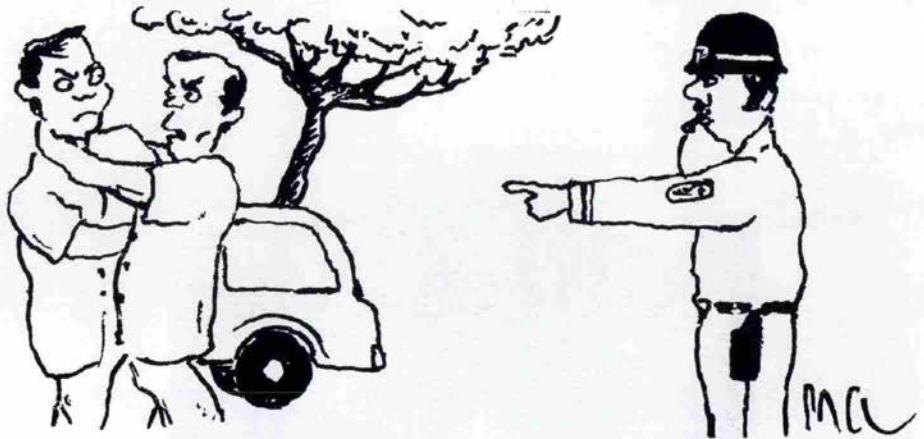
り、なぜかミサイルのオネスト・ジョンという名前を思い出していた。正直に的を射るからオネスト・ジョン……その意味合ひと、ゆうべの私にどのようない共通点があるのかを私は考えた。

隣のベッドの女性も、自分たちの街を戦場とされている日常の中で、クタクタに疲れ果てていたにちがいない。そして、私もまた、カッコよく羽田を発つたもののしだいに不安がつのり、ようやく宿が見つかって安心したため、疲れがドッと出てすぐに眠りの世界へ入つたにちがいない。おそらく、私は隣のベッドの女性と同じように、大いにイビキをかいて眠つていたのだろう。疲れて眠いから大いにイビキ……それは、どこかオネスト・ジョンという素朴なひびきとかさなつてているような気がした。

アーネスト・ミスター・ヤマモトと呼ばれエースと答え、山本さんになりすまして泊つたホテルが、米兵の連れ込み宿……これは、いかにも俺の旅らしいと思った。反戦の意識も、ジャーナリスト精神もなく、火事場見物みたいなセンスで戦場の街を訪れた自分の物腰と、いま泊つているホテルはよくフィットしているという気分だつた。

その姉妹は、二度と姿をあらわさなかつた。今度

カット／灘本唯人  
題字／筆者



（むらまつ・ともみ）一九四〇年東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒。六三年中央公論社に入社。「小説中央公論」「婦人公論」「海」編集部員を経て、「八一年退社。八二年『時代屋の女房』で直木賞受賞。主な著書は『私のプロレスの味方です』、『百合子さん何色』、『アブサン物語』、『トニー谷、さんす』など。

会つたら、ぜひ美女の方と近しい関係になりたいものだと思っていた私には、それがちょっと寂しかった。しかし、あの米兵も姉妹も、いまこの世にない可能性は十分なのだと思うと、うわついた気持がきゅっと引きしまるのを感じた。

ベトナムへ送り込まれた米兵は、見えない敵と戦っている。彼らの目には、一般人、南ベトナム兵士、南ベトナム民族解放戦線のゲリラ、北ベトナムの兵士の区別がつかないだろう。いつ、誰が自分を襲ってくるか分らない状態で、目に見えぬ敵を相手に見構えている……それが、米兵たちのありかただつた。アメリカ大使館をはじめ、米軍に関係のある建物は、つねに銃の装填を外した何人かのMPによつて警護されていた。彼らは首から笛をぶら下げている。たとえば目の前で交通事故があり、運転手同士が言い争いを始めた場合、MPはその笛を吹いて警告する。笛を三度吹いても言い争いを止めぬ場合、運転手たちは交通事故という偽装のもとに、建物を爆破する目的のゲリラとみなされるというわけだ。間違いも、犠牲もあるのだろうが、そういう見分け方しか米兵側にはあり得なかつた。彼らの恐怖と不安は計り知れないものがあつたはずだ。

そして、そこで銃撃戦が行われた場合、偶然そこを通りかかった者、たとえば私が巻き添えになる可能性は大きい。それが、当時のサイゴンの日常というやつだったのである。



# 神戸、東灘口マン街道

佐々木 湘  
〔作家〕



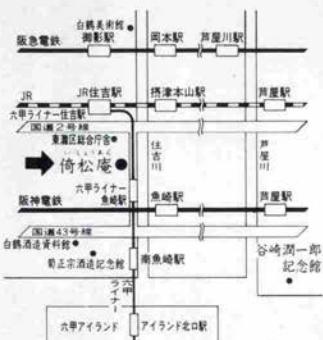
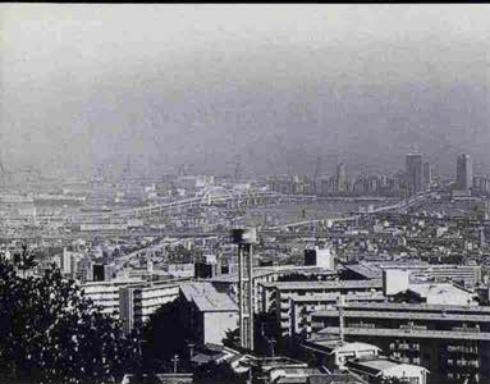
「神戸ベイシェラトン  
ホテル&タワーズ」  
六甲アイランドの中心に  
建つ、インターナショナル  
ホテル



「倚松庵」文豪・谷崎潤一郎の旧邸宅で名作『細雪』の舞台となった家

阪神魚崎で下りよう。六甲ライナーに乗り、  
アイランド北口駅で下車、小磯記念美術館へ。  
小磯良平は神戸が誇る日本屈指の洋画家。し  
ばし、絵画の世界にひたる。鑑賞のあとはペ  
イ・シェラトンで、ちょっとリッチな昼食を。  
再び六甲ライナーに乗って南魚崎駅に降り立  
ち、酒蔵見学。菊正宗酒造記念館と白鶴酒  
資料館を回り灘五郷の歴史を学んできき酒を  
するのも一興。そのあと魚崎に戻り、住吉川  
を北上して、谷崎潤一郎の『細雪』の舞台に  
なった倚松庵を訪ねる。もともとこの地より  
二百メートルほど南にあつたのが、六甲ライ  
ナー敷設にあたり、取り壊されそうになつた  
のを、地元住民らの熱意が通じて移築保存さ  
れた。

一階はマントル・ピースのある部屋に、三  
枚の引き戸やステンド・グラスがある扉。谷  
崎が実際に使つたテーブルなども一階の食堂  
に残されている。二階には二方に窓めぐらせ  
た贅沢な設計の南向きの部屋のほか二室。ど  
れもこれも『細雪』の場面を彷彿とさせる。  
谷崎潤一郎がここを借りて住んでいたのは昭  
和十一年から十八年までの八年間。引っ越し  
魔の彼にすれば記録的な長期滞在である。こ  
の家とその立地への並々ならぬ愛着が分か  
る。二階の中の部屋には、立ち退いて欲しい  
という家主との交渉がわかる書簡類が展示さ  
れていて興味深い。最後の夫人松子と、万難



このコースで文化の香りを満喫できる



谷崎のデザインによる岡本の家「鎮瀬閣」は阪神大震災で全壊



夫婦生活を本格的に送り始めたのはここ「倚松庵」なのである。

後ろ髪を引かれる思いで倚松庵を後にし、谷崎文学散歩と決めよう。倚松庵で、ゆかりの地をパンフレットにした「谷崎潤一郎 IN 阪神」（二五〇円）を求め、それをよすがに回りたい。一時間ぐらいで全部まわる。最後は岡本七丁目の、谷崎が自分で設計して建てた家「鎮瀬閣」を見たいのだが、残念ながら阪神大震災で全壊した。もとあつた土地から東一五〇メートルのところの、梅林公園の敷地拡張予定地に、その家を復元する運動が今地道に行われている。岡本といえば「梅」。

I.N.阪神（二五〇円）を求め、それをよすがに回りたい。一時間ぐらいで全部まわる。最後は岡本七丁目の、谷崎が自分で設計して建てた家「鎮瀬閣」を見たいのだが、残念ながら阪神大震災で全壊した。もとあつた土地から東一五〇メートルのところの、梅林公園の敷地拡張予定地に、その家を復元する運動が今地道に行われている。岡本といえれば「梅」。谷崎の家はまさにこの「梅」を見るために設計されていた。「鎮瀬閣」建築予定地からの海への眺望はまた格別である。

梅林公園を後にして、東へ百メートルほどのところにある「岡本アカデミア」に足を伸ばそう。もともと川崎造船の郊外の別荘地だったここは、紆余曲折を経て、地元発信のさまざまな文化的活動の拠点となっている。和洋折衷の建物。海への眺望抜群。またこの近くの「馬酔木莊」にはかつては谷崎一家の友人で、船場で文具問屋をしていた、妹尾健太郎・君子夫妻が住んでいたこともあった。この夫婦は谷崎に強い刺激を与えた。

岡本には、震災の傷痕生々しいとはいえない。未だに古きよき時代を残す町並みが残っている。たしかに近代百年そこそこの歴史ではあるが、神戸と大阪の中間にあつてゆとりのある人々が生んだ阪神間独特的の文化的香りが匂いたつている、これから町である。

# 酒蔵の街「神戸るまん物語」

福元 早夫  
〔作客〕

「こうべ甲南武庫の郷」  
灘五郷の由来がよくわかる



大正から昭和初期の有名建築家、清水英治の建物と  
甲南漬のシンボル大樽

「白鶴酒造資料館」館長の島賀二さんが酒づくりの説明をしてくれる



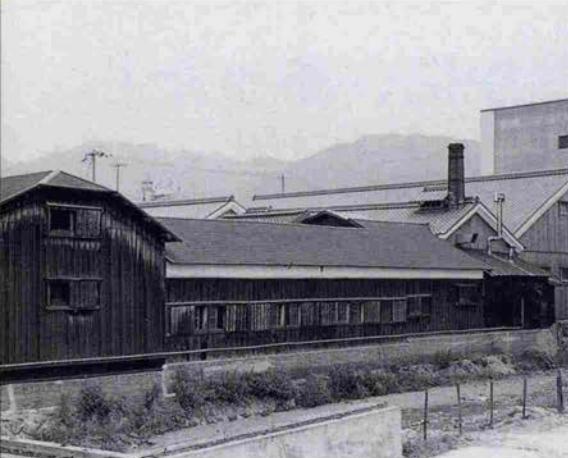
藏人役の人形が昔の酒づくりを再現

阪神電車の新在家駅で下車して、南東へ五分も歩くと国道四十号線に沿う。見上げると、阪神高速道路が大阪へのびている。「こうべ甲南武庫の郷」の青いのぼりが、風にひるがえって音をたてていた。ここに美味伝承の甲南漬の資料館があった。館長の高嶋秀平さんに案内されなかへはいると、灘五郷の地図がいきなり目線をとらえた。色彩ゆたかなそこに、東から今津郷、西宮郷、魚崎郷、御影郷、西郷とするされていた。神戸市から西宮市へかけての約二十四キロメートルの地域である。

ここが日本一の酒蔵地となった背景には、宮水とよばれる良質の水と、丹波地方の質のよい米と、六甲おろしの寒風と、それに丹波杜氏の酒造技術、さらには六甲山系から流れる河川を利用して水車精米による品質の向上、江戸への積出しの輸送面で、樽回船や菱垣廻船の海岸沿港とあいまって、全国一の酒造地帯となりました、と説明書きがあつた。目線をさげると、この地域の酒造の模型があり、本物そっくりだった。高嶋さんの兄が昔の写真をもとに、手づくりしたのだという。ここに立つと、酒蔵の街と由来がひと目でわかるようになっていた。

「甲南漬は灘の生一本の絞りかすと、みりんの自家製造に、野菜類は近畿地方の農家が丹精をこめたもので、手間ひまをかけて伝統を守っています」と高嶋さんは胸をはつた。それを裏づけるように、本店へ行くと買物客が、甲南漬にお茶で談笑していた。国道四十三号線の陸橋をこえると、白鶴酒造資料館があつた。館内は「酒づくりの歌」が流れている。

「一曲の歌の長さが、洗米、蒸米、放冷、こうじ取りこみ、もと仕込、もろみ出し、上槽といった酒づくりのひとつつの工程の目



震災でほとんどの木造酒蔵が消えた中「清酒灘泉」の酒蔵が残っていた。



「浜福鶴吟醸工房」宮脇米治さんの酒づくり歌の美声が聞ける

限定販売コーナーでは生酒のきき酒を

安になるんですよ」と館長の畠賢二さんがいっつた。黒褐色にくすんだ天井や支柱が、江戸時代からの伝統を語り、人形たちが蔵人になつて昔を再現していた。「原料米の山田錦のふるさとは、裏六甲から東条湖へかけての農村地帯で、すべて手づくりですよ」と畠さんはいっつた。飯米の倍ちかい背だけである。「ここは温度差が冬は十度ちかくありますからね、おいしい酒づくりの秘訣ですよ」と畠さんは自慢顔だった。ふと故郷を思った。鹿児島を離れて三十七年である。人の心にしみるいい小説を書かねば、と思つたのである。

一九九五年一月十七日午前五時四十六分の、阪神大震災は、酒蔵の街を変えてしまつた。震度七の激震だつた。大型のブルトーザーやユンボが、いまだに轟音をたてていた。レンガ堀や木造の酒造はおおかたが消えて、鉄筋コンクリートづくりのマンションかビルのようになつていて。住吉川を東へこえて、魚崎浜町へいくと、正門だけが残つた桜正宗のさら地のむこうに、「浜福鶴」の吟醸工房があつた。観光担当の宮脇米治さんはかつての杜氏の姿格好で、コンピューターで自動制御された清酒の製造工場を案内してくれながら、「酒づくり歌」を美声でふるわせた。

工房内はステンレス製の大きな円筒や容器がたちならび、計測機器が目を光らせ、ロボットが仕事をしていた。酒造見学をすますと限定直売コーナーへ案内された。ここでつくられた「浜福鶴」が、デザインの美しいビン詰めになつて、立ちならんでいた。丹波地方や神戸の特産品がそれらと肩を並べていた。生酒の試飲コーナーがあつて、宮脇さんがふるまつてくれた。うまかつた。觀光バスがきて、九州の佐賀県の人たちで奈良を見学したつづきだという。陳列コーナーにひときわ目をひくものがあつた。ポートタワーのかたちをしていた。透明にちかいブルーの、七二〇ミリ詰だつた。手にとると、「神戸ろまん物語」とラベルにあつた。見るからにロマンチックだつた。

生酒の試飲で酔つたとは思えなかつたが、ほろつとなつた。工房をあとにしながら、地域の活性化のために酒蔵観光コースの復活を、といった甲南漬の高嶋さんのことばを思いうかべていた。